

everlasting

For adult only

mechi

Contents

risky	3
もつれた種	25
まだ名前のない、天使と悪魔のお話	46
傷心	89
わるいゆめ	98
a bit faster	116
千夜一夜物語	138
トリガー	167
everlasting	185

このたびは、当同人誌を
お手にとっていただき、誠にありがとうございました。
お手に取って読みたいと思っていただき、ありがたく思います。

この本は、2020 年に発行した同人誌を受注頒布用に整えたものです。
お楽しみいただけましたら幸いです。

risky

「この天使を始末しろ」

蠅の王ことベルゼブブ様がつまらなそうにぴらつと俺とアジラフェルが並んで写ってる写真をこちらに見せた時、こいつら頭がおかしいなと思った。

とつさに「どうして」と声にならなかったのは、その瞬時に喉が干からびてたからだ。

何度かツバを飲み込んで、何食わぬ顔を装って蠅王様の顔を直視した俺は顔面蒼白だったと思うが、地獄のオフィスは薄暗いから、なんとか気づかれなかったろうと思う。

「どうしてそいつを消す必要があるんですか？天国と戦争でも引き起こす気ですか？」

「まさか、そんなつもりはない。これまでよりほんのちよつと、地上を悪に染めやすくするだけだ。」

「でも、天使が一人消えたらあつちだつてさすがに放っておかないし、すぐにこつちの仕業だと気づくでしょう…」

「しらを切るぞ」

「安易すぎます、本当に戦争になりますよ！預言通り、戦争はハルマゲドンが起きるまで待つべきだ…」

「どうしてそう嫌がる？」「嫌がっちゃいません！そんな簡単に敵側を刺激するべきじゃないと…盟主様の命令ならともかく——」

「サタンはあらゆる悪事を喜んでくださるぞ」

「たかが天使一人消したつて、ほんのちよつとロンドンに悪がはびこりやすくなるだけだ——」

「たかが天使一人だ、だから構わないだろう？この写真、どう見てもお前が向こうに寝返つてるようにしか見えない。そうでもないならこの天使を消して、お前の忠誠を示してみろ。」

「スパイしてるんですよ…！俺はその天使を出し抜いて——」

「要件は以上だ、さつさと行け」

横から口を挟んで俺を追ひ払ったハスターの面をぶん殴つてやりたいのをこらえて、回れ右した。

話を通じる連中じゃないのは嫌というほど知つてた。